

スケジュール



時間	項目	詳細	進行
13:00	会場準備	会議設営	以下SPS
13:30	打ち合わせ	茨木市、SPSで打ち合わせ	
13:50	開場		
14:00	イントロ	配布資料とゴールの説明	
14:10	ディスカッション①	各グループ内で視察の共有	
14:45	視察共有	各グループ10分程度 全体に向け発表	
15:25	休憩		
14:15	ディスカッション②	各グループ内で ・発信に向けての意見交換 ・記事作成のワンポイントレッスン	
15:35	ディスカッション③	各グループ内で ・構成を考える ・執筆担当者を決める	
16:25	クロージング	まとめ、次回の確認、アンケート	
16:30	終了&片付け		全員

イントロダクション (SPS)



1. 内容

市民アートコーディネーターとして必要な5つの要素を再度共有し、その中で今回は「つたえる」ことをテーマに実施していくことを共有。

ディスカッション①「視察の共有」

1. グループ内で共有

- ・視察先の振り返り（どんな場所？どんな新しい気づきや発見があった？）
 - ・文化芸術と接点を持ってそうなポイントは？
 - ・既に実践している場での良い点は？
- ⇒グループごとに、全体共有に向けた情報を集約。

2. グループごとに全体発表（一部抜粋）

【福祉】

- ・創作する側の視点で視察したので「見る側」の視点で何かできることを模索したい。（鑑賞しやすい展示方法など）

【教育】

- ・鑑賞した落語公演の他、親子農業体験など幅広く活動。地域の交流、人と人のつながりを大切にされており、熱意に動かされて多くの方からの協力が得られている。

【環境】

- ・ゲーム感覚で子供たちに資源の大切さを教える機会をつくりたい。クレーンゲームでカプセルに入った種をプレゼントし、コンポストで使ったたい肥を配布する。

【多文化共生】

- ・地域のハブになっている。一方でボランティアが少ない、孤立した高齢者が多い点を何か解決できないか。「もっと多くの人に知ってもらいたい」というニーズは、あるのか。まず現地との関わりを持つところから始めたい。

ディスカッション②noteでの発信に向けて



1. 発信に向けての意見交換

「つたえる」の実践練習として、つどい、つながる文化の会議の活動発信で活用しているnoteのアカウントで視察の記事を作成。発信する際に大事にしたいことをグループ内で考え、共有。

2. 記事作成のワンポイントレッスン（発表者：SPS榛葉）

普段記事を書く際に気を付けている点について事務局より共有。

- ・伝えたいメッセージを1点にしぼる
- ・情景が思い浮かぶくらい具体的な表現にする
- ・事実と感想を区別する
- ・投稿前に関係者、複数人で確認をする

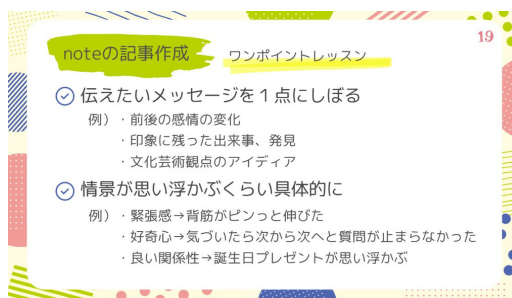
ディスカッション③note記事作成に向けて

1. 構成を考える

グループ内で伝えたいメッセージを一つに絞る。

2. 執筆担当者を決める

各グループ内で執筆担当者を決め、後日事務局宛に原稿を送付する。事務局内で確認し、事務局側が代理で記事を投稿する。



(当日の様子と資料一部)

各グループのnote記事



(環境)



(教育)



(多文化共生)



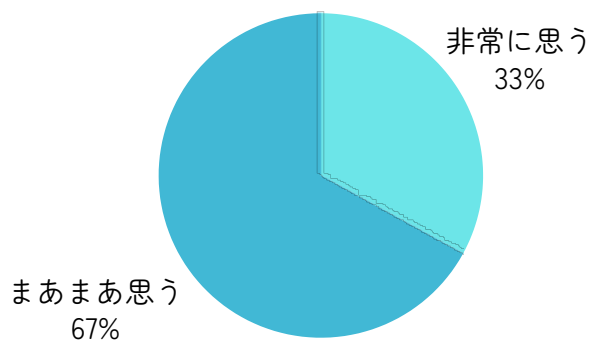
(福祉)

アンケート（9名）



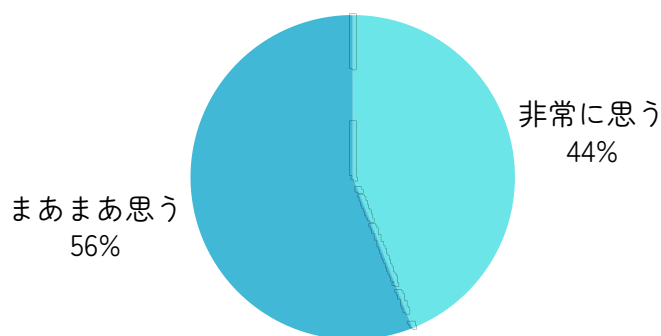
1. 文化芸術活動に対して、以前より「関わりたい」と思う気持ちが高まりましたか？

- 非常に思う...3名
- まあまあ思う...6名
- 少し思う...0名
- 特に変わらない...0名



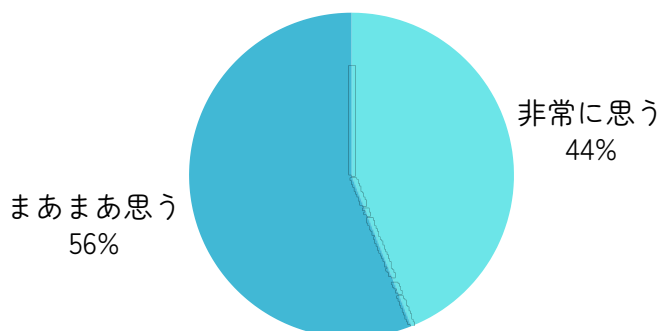
2. 地域社会に貢献したいという気持ちは高まりましたか？

- 非常に思う...4名
- まあまあ思う...5名
- 少し思う...0名
- 特に変わらない...0名



3. 今回の活動を通して、新しい出会いやつながりを感じましたか？

- 非常に思う...5名
- まあまあ思う...4名
- 少し思う...0名
- 特に変わらない...0名

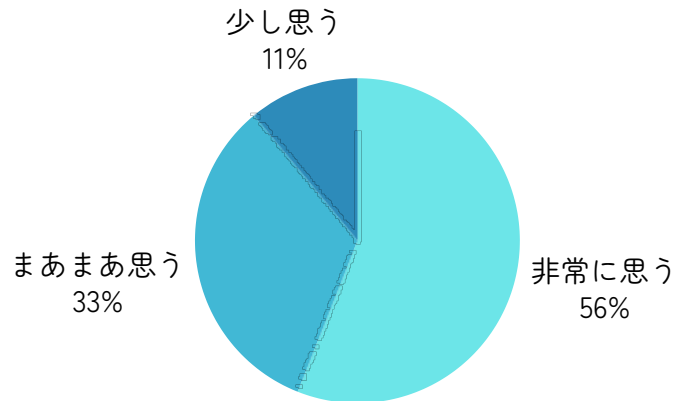


アンケート (9名)



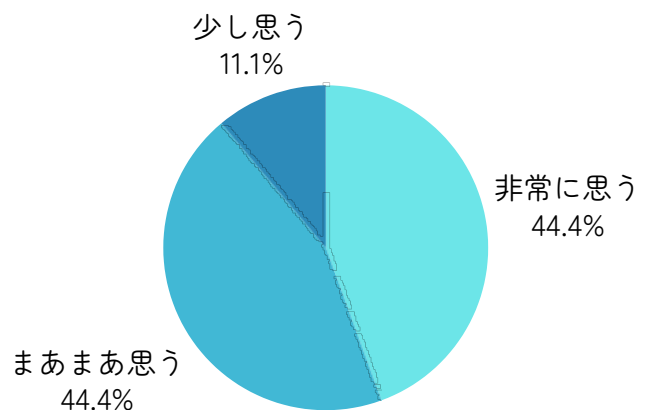
4. 新しいことへの好奇心や、アイデアを得ることができましたか？

- 非常に思う...5名
- まあまあ思う...3名
- 少し思う...1名
- 特に変わらない...0名



5. この活動について、家族や友人など周りの人に紹介したいと思いますか？

- 非常に思う...4名
- まあまあ思う...4名
- 少し思う...1名
- 特に変わらない...0名



6. 印象に残ったキーワード、感じたこと・運営に関するご要望などがあれば自由にご記入ください。(一部抜粋)

- ・前回の視察からより具体的な案がでてきたように思います。他の参加者の方とお話出来たので意見交換が深くできたと思いました。
- ・視察先の共有やディスカッションは面白かったが、少し欠席者が多くて残念だった。写真がもう少しあっても良かったかもしれない。noteを書くことは知らなかったのが驚いた。
- ・気付きの場所を提供してくださってありがとうございました。自分のすべきことを整理できました。
- ・お話をしてくださった2人の情熱とパワーが素晴らしく、活動を知ることができてよかった。これを踏まえて市民アートコーディネーターとしてどうしていくのか考えさせられた。
- ・色々な活動の情報の共有と共感。



令和7年度茨木市主催

つどい、つながる 文化の会議

第5回

実施報告書

令和7年10月20日

茨木市

サントリーパブリシティサービス

目次



1. 私たちのゴール...P.56

2. 実施概要...P.57

3. スケジュール...P.58

4. イントロダクション...P.58

5. 講義...P.59

6. ディスカッション...P.60

7. アンケート...P.61

私たちのゴール



最終ゴール

文化芸術をきっかけに、誰一人取り残さない社会をつくる。他の団体や他者と積極的につながり、つなげる役割「=市民アートコーディネーター」を担う



今年度のゴール

市民アートコーディネーターとして必要なスキルや関係性の築き方を学び、文化芸術×他分野の取組みを知ることで他者や他団体とつながるアイデアを考える



第5回のゴール

アイデアを形にするには？
～市民アートコーディネーター（AC）
として活躍するための『つ』の
具体化～

実施概要



1. 日時

令和7年10月12日（日）14:00～16:30（13:50開場）

2. 場所

おにクル3階 リハーサル室

3. 参加者

参加者計18名

出席9名 欠席9名

4. 運営

講師：室野 愛子様

社会医療法人同仁会 耳原総合病院 チーフアートディレクター

（所属：NPO法人アーツプロジェクト 理事 / JOHNNAN株式会社アート&デザイン課参事）

企画運営：茨木市、SPS

オブザーバー1名：茨木市文化振興財団

スケジュール



時間	項目	詳細	進行
13:00	会場準備	会議設営	以下SPS
13:30	打ち合わせ	茨木市、SPSで打ち合わせ	
13:50	開場		
14:00	イントロ	配布資料とゴールの説明	
14:10	講義	仕事内容、役割、リンクワーカーの役割など	室野様
15:10	質疑応答	事前質問に沿って対話形式で実施	以下SPS
15:10	休憩		
15:20	アイスブレイク	・話し合う際の「対話」ルールを説明 ・講義の内容をグループ内で共有	
15:40	個人ワーク	ポストイットに各自やりたいことを記入	
15:55	ディスカッション&作業	グループ内で発表しあい、 ポストイットをグルーピングする	
16:20	クロージング	まとめ、次回の確認、アンケート	
16:30	終了&片付け		全員

イントロダクション (SPS)

1. 内容

前回の「つたえる」で実践したnoteについて、執筆者より感想を全体へ共有。今年度のゴールの再確認と、今回の目的の共有。